

各 位

フィデアホールディングス株式会社
株式会社 荘内銀行
株式会社 北都銀行

平成 24 年 3 月期 第 2 四半期（平成 23 年度 中間期）決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアHD」）は、平成 24 年 3 月期 第 2 四半期（平成 23 年度 中間期）の連結業績と株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：齊藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアHD

(1) 平成 24 年 3 月期 第 2 四半期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）連結業績

業容は順調に拡大。譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に増加し、前年同期比 1,255 億円（6.2%）増加の 2 兆 1,384 億円。貸出金残高は地方公共団体向け貸出、事業性貸出を中心に増加し、前年同期比 573 億円（4.0%）増加の 1 兆 4,788 億円。

経常収益は、利回りの低下に伴う資金運用収益の減少等により前年同期比減収。利益面では、連結粗利益は前年同期比増益となったものの、震災対応に伴う与信関係費用の増加などで経常利益、中間純利益ともに減益。

連結自己資本比率は前年同期比 0.19 ポイント上昇し 8.77%、連結 Tier I 比率は前年同期比 0.22 ポイント上昇し 6.35%（いずれも速報値）。2 行合算（単体）の金融再生法開示債権比率は荘内銀行で震災の影響を織り込んだことから上昇し 2.95%。

			番号	フィデアHD			
				前年同期	前年同期比	同増減率	
【連結】	損 益	経常収益	(1)	24,870 百万円	25,717 百万円	△ 846 百万円	△ 3.2 %
		連結粗利益	(2)	19,416 百万円	19,362 百万円	54 百万円	0.2 %
		経常利益	(3)	3,243 百万円	3,590 百万円	△ 347 百万円	△ 9.6 %
		中間純利益	(4)	1,894 百万円	2,282 百万円	△ 387 百万円	△ 16.9 %
	自己資本比率 (速報値)	自己資本比率	(5)	8.77 %	8.58 %	0.19 %	
		Tier I 比率	(6)	6.35 %	6.13 %	0.22 %	
	主要勘定残高 (末残)	総資産	(7)	22,749 億円	21,817 億円	932 億円	4.2 %
		預金等(譲渡性預金を含む)	(8)	21,384 億円	20,128 億円	1,255 億円	6.2 %
		貸出金	(9)	14,788 億円	14,214 億円	573 億円	4.0 %
		有価証券	(10)	6,854 億円	6,170 億円	684 億円	11.0 %
【合算】不良債権	金融再生法開示債権額	(11)	44,650 百万円	37,263 百万円	7,386 百万円	19.8 %	
	総与信に占める割合	(12)	2.95 %	2.58 %	0.37 %		

(2) 平成 24 年 3 月期連結業績予想

フィデアHDの平成 24 年 3 月期通期連結業績は、資金運用収益の減少を見込む一方、与信関係費用の減少や統合効果の抽出に努め、増益となる計画。

			通期		
			番号	前期比	同増減率
フィデアHD(連結)	経常収益	(13)	47,500 百万円	△ 5,217 百万円	△ 9.8 %
	経常利益	(14)	6,200 百万円	1,146 百万円	22.6 %
	当期純利益	(15)	3,800 百万円	125 百万円	3.4 %

※平成 24 年 3 月期の普通株式の配当は、期末配当 1 株当たり 5 円（年間 5 円）を計画。

(次ページへ)

2. 荘内銀行

(1) 平成 24 年 3 月期 第 2 四半期 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日) 単体業績

経常収益は有価証券関連収益や役員取引等収益の減少等により前年同期比減収。経常利益、中間純利益は資金利益の増加や経費の減少があったものの、与信関係費用の増加等で減益。

譲渡性預金を含む預金等残高は個人預金を中心に増加し、前年同期比 916 億円 (10.1%) 増加の 9,948 億円。期中には中期経営計画目標である 1 兆円を超え、業容は順調に拡大。貸出金残高は地方公共団体向け貸出や、事業性貸出を中心に増加し、前年同期比 458 億円 (6.3%) 増加の 7,704 億円。

金融再生法開示債権額は、震災の影響により住宅ローン等の条件変更丁寧に丁寧に対応したことから前年同期比 76 億円増加。総与信に占める割合は、前年同期比 0.85 ポイント上昇して 2.98%。

単体自己資本比率は内部留保の積み上げ等により前年同期比 2.19 ポイント上昇して 11.64% (速報値)。

		荘内銀行				
		番号	前年同期	前年同期比	同増減率	
【単体】	損益	経常収益 (16)	11,358 百万円	12,808 百万円	△ 1,450 百万円	△ 11.3 %
		業務純益 (17)	2,388 百万円	2,147 百万円	241 百万円	11.2 %
		コア業務純益* (18)	2,123 百万円	2,170 百万円	△ 47 百万円	△ 2.1 %
		経常利益 (19)	1,567 百万円	1,897 百万円	△ 329 百万円	△ 17.3 %
		中間純利益 (20)	876 百万円	1,079 百万円	△ 202 百万円	△ 18.8 %
	不良債権	金融再生法開示債権額 (21)	23,502 百万円	15,866 百万円	7,635 百万円	48.1 %
		総与信に占める割合 (22)	2.98 %	2.13 %	0.85 %	
		与信関係費用 (23)	706 百万円	18 百万円	687 百万円	— %
	自己資本比率 (速報値)	自己資本比率 (24)	11.64 %	9.45 %	2.19 %	
		Tier I 比率 (25)	7.82 %	7.72 %	0.10 %	
主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金) (26)	9,948 億円	9,032 億円	916 億円	10.1 %	
	貸出金 (27)	7,704 億円	7,246 億円	458 億円	6.3 %	
	有価証券 (28)	2,503 億円	2,260 億円	242 億円	10.7 %	

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 24 年 3 月期単体業績予想

荘内銀行の平成 24 年 3 月期通期単体業績は、有価証券関連収益の減少を見込む一方、業容拡大や経費削減に引き続き取り組むことにより、経常利益、当期純利益ともに増益となる計画。

		通期			
		番号	前期比	同増減率	
荘内銀行(単体)	経常収益 (29)	22,000 百万円	△ 3,264 百万円	△ 12.9 %	
	経常利益 (30)	2,900 百万円	378 百万円	15.0 %	
	当期純利益 (31)	1,600 百万円	194 百万円	13.8 %	

(次ページへ)

3. 北都銀行

(1) 平成 24 年 3 月期 第 2 四半期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）単体業績

経常収益は利回りの低下により資金運用収益が減少したものの、預り資産関連の役務取引等収益や有価証券関連損益が増加したことから増収。経常利益、中間純利益は経費や与信関係費用の減少などにより増益。第 2 四半期の経常利益としては、平成 5 年の北都銀行スタート以来、最高益となった。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金、法人預金を中心に増加し、前年同期比 359 億円（3.2%）増加の 1 兆 1,544 億円と、業容は引き続き順調に拡大。貸出金残高は、地方公共団体向け貸出のほか震災復旧支援資金等法人向け貸出を中心に増加し、前年同期比 253 億円（3.6%）増加の 7,145 億円。

金融再生法開示債権額は、取引先に対する積極的な経営支援活動に取り組んだ結果、前年同期比 2 億円減少、総与信に占める割合は前年同期比 0.14 ポイント低下し 2.91%。

単体自己資本比率は内部留保の積み上げにより前年同期比 0.16 ポイント上昇して 8.60%（速報値）。

		番号	北都銀行			
			前年同期	前年同期比	同増減率	
【単体】	損益	経常収益	(32) 11,769 百万円	11,624 百万円	144 百万円	1.2 %
		業務純益	(33) 2,656 百万円	2,885 百万円	△ 228 百万円	△ 7.9 %
		コア業務純益*	(34) 1,420 百万円	2,262 百万円	△ 841 百万円	△ 37.1 %
		経常利益	(35) 1,924 百万円	1,565 百万円	358 百万円	22.9 %
		中間純利益	(36) 1,033 百万円	1,006 百万円	26 百万円	2.6 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(37) 21,148 百万円	21,397 百万円	△ 248 百万円	△ 1.1 %
		総与信に占める割合	(38) 2.91 %	3.05 %	△ 0.14 %	
		与信関係費用	(39) 412 百万円	618 百万円	△ 205 百万円	△ 33.1 %
	自己資本比率 (速報値)	自己資本比率	(40) 8.60 %	8.44 %	0.16 %	
		Tier I 比率	(41) 7.56 %	7.38 %	0.18 %	
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(42) 11,544 億円	11,185 億円	359 億円	3.2 %
		貸出金	(43) 7,145 億円	6,891 億円	253 億円	3.6 %
		有価証券	(44) 4,450 億円	4,105 億円	345 億円	8.4 %

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 24 年 3 月期単体業績予想

北都銀行の平成 24 年 3 月期通期単体業績は、業容の順調な拡大、預り資産販売手数料の増強、経費削減及び与信関係費用の減少等により増益となる計画。

		番号	通期		
			前期比	同増減率	
北都銀行(単体)	経常収益	(45)	23,000 百万円	△ 964 百万円	△ 4.0 %
	経常利益	(46)	3,100 百万円	1,099 百万円	54.9 %
	当期純利益	(47)	1,900 百万円	487 百万円	34.5 %

以上

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

フィデアホールディングス IRグループ 大石 TEL : 018-833-4211
佐藤 TEL : 023-626-9006

くわしくは、「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。